

知的財産の成果 Achievements in Intellectual Property

研究・開発を推進する過程で創出された成果を発明の観点から権利化している。その際、事業戦略や研究・開発戦略に応じて、コア技術を中心とした特許網の構築、注力するテーマや分野への集中出願、及び事業計画に沿ったグローバル出願の強化を行い、現在及び将来の事業を支えるパテントポートフォリオを構築している。

順位	企業名	日本登録件数
1	パナソニック	8,653
2	トヨタ自動車	5,326
3	キヤノン	5,023
4	三菱電機	4,497
5	東芝	4,494
6	リコー	3,556
7	富士通	3,259
8	本田技研工業	3,182
9	シャープ	3,023
10	日立製作所	2,959

* PATOLIS を利用した調査結果

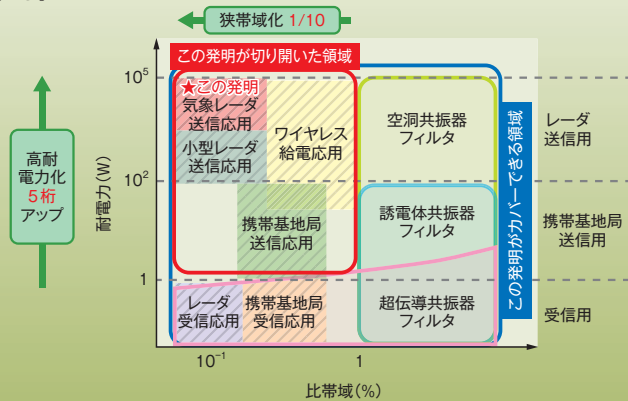
順位	企業名	米国登録件数
1	IBM	6,478
2	三星電子	5,081
3	キヤノン	3,174
4	ソニー	3,032
5	パナソニック	2,769
6	マイクロソフト	2,613
7	東芝	2,447
8	HON HAI	2,013
9	GE	1,652
10	LG 電子	1,624

* *IFI CLAIMS® Patent Services データ

公益社団法人 発明協会から、科学技術の向上と産業の発展に功績があったことが認められ、2012年は全国発明表彰で下記の賞を受賞した。

【21世紀発明奨励賞】 特許第4264101号「大電力無線機の超伝導ハイブリッドフィルタ」

耐電力性の低い超伝導共振器を二つの空洞共振器で挟み込み大電力信号が超伝導共振器を通過しない構成を実現し、空洞共振器フィルタに比べ1/10以下の狭帯域特性と、従来の超伝導フィルタに比べ5桁以上上回る高耐電力特性を両立させた。この発明は、ゲリラ豪雨対策用の高性能気象レーダへの適用をはじめ、大電力無線機への適用により、安全・安心で快適な社会づくりへの貢献が期待される。



(a) 従来技術との比較によるこの発明の位置づけ



(b) 超伝導ハイブリッドフィルタ

【発明賞】 意匠第1404629号 「医療用重粒子線照射システム」

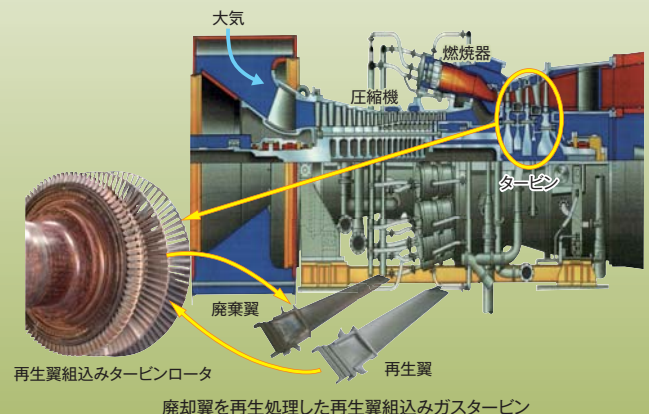
重粒子線治療装置における7軸制御のアーム式治療台のデザインが、スタッフの業務負担の軽減に加え、患者に対して高い次元の安全性を確保したことで、安心して治療に専念できる環境を創出した点が評価された。



治療室のアーム式治療台

【発明賞】 特許第4468082号 「発電用ガスタービン部品の再生・再利用技術」

発電用ガスタービンに用いる高温部品で管理寿命に達して廃却となる部品を新品と同等以上の寿命と信頼性があるものに再生する技術で、繰り返し適用することで大幅な寿命延伸が期待でき、経済効果が大きく資源も有効活用できる点が評価された。



廃却翼を再生処理した再生翼組み込みガスタービン